

受験番号

氏名

一 問一 神の言葉を、神の権威を認めないという

こと

3点

問二 「人間は大事なことを何も知らず、それを自分が知らないということも知らない」ということを自分は知っている
ということ。

4点

問三 イ

3点

問四 一言聞いてすぐわかる

3点

問五 エ

3点

問六 ウ

3点

問七 物分かりが悪いことがかえって新しい発見や新しい仲間との出会いにつながり、余裕を得ることもできる。

3点

問八 イ

3点

二 問一 欠落出征する父を見送る駅で、突然ドブに落ちたこと。

3点×2

幸福もう二度と逢えないと思っていた父に逢えたこと。

問二 面会に行つたとき、

3点

出征する父に渡すため。

3点

問三 エ

3点

問四 今日が父に逢える最後の日になるかもしれない

ということ

3点

問五 ア

○

イ

○

ウ

×

エ

×

2点×4

問六 昭和十九年の夏の夜八時頃

3点

問七 ウ

3点

問八 具体的な出来事を通じて実感した家族との絆と、それについての思いを書くこと。

主語を明確にし、自分の考えをまとめて述べていること。
字数制限を守り、六年生までに学ぶ教育漢字を正しく使用していること。

10点

三 問一 才能

② 対等

③ 興奮

④ 降参

⑤ 痛快

⑥ 念願

⑦ 未練

⑧ 複雑

問二 ① ウ

③ ア

④ イ

⑤ ア

⑥ ウ

⑦ エ

⑧ イ

1点×8

問三 ① おおがい

九画

② けものへん

三画

③ ころもへん

五画

④ くち

三画

⑤ もんがまえ

八画

⑥ こぎとへん

三画

1点×16

⑦ ひへん

四画

⑧ れんが(れつか)

四画

問四 ① エ

② ア

③ イ

④ ウ

1点×4